

# 正門横の屋外看板を設置しました 道路沿いに



※完成イメージのため色やデザインが変更する場合があります

# 嶺朋会報

＝発行＝  
静岡県立吉原高等学校  
同窓会 嶺朋  
静岡県富士市今泉2160番地



同窓会  
ホームページ

## 『今、吉高から 世界を見据え 未来を創り出す』

吉原高校正門東側の道路沿いに、新しい屋外看板を設置しました。

これまでは、平成二十年(二〇〇八年)に創立百周年の記念事業として設置した『吉原高校』の4文字を掲示していましたが、経年による傷みが目立ち始めたこともあり、数年前から「新たな看板を設置してほしい」という声を、同窓生からも多く頂いていました。

当初は校章と校名だけの予定でしたが、令和十年(二〇二八年)に迎える創立一二〇周年に向けた機運を起そうと、新たなスローガンも掲げることになりました。

スローガンは生徒から入りたい言葉を募集し、生徒会の皆さんが中心となってメッセージの方向性などの検討を重ね、生徒の皆さんの思いが詰まった『今、吉高から世界を見据え 未来を創り出す』に決定しました。

設置にあたり同窓会から寄付金を贈呈し、看板の工事費用に充てていただきました。

## 令和4年度 同窓会嶺朋役員

役職名	氏名	卒年
顧問	松本 玲子	S36
相談役	神田富美子	S39
名誉会長	福島 由子	校長
参与	平井 剛	副校長
"	和田めぐみ	教頭
会長	土屋とき江	S48
副会長	宮本 晴美	S46
"	齋藤 博子	S52
監査	勝又美佐代	S49
"	小泉恵津子	S49

## 令和4年度 年代別本部理事

年代(世代)	氏名	卒年
30代	荒川 実喜	H21
40代	川崎さく恵	H9
50代	渡井 祐香	S61
60代	加藤 恵子	S48
	石川 宏美	S52
	関 真弓	S54

## 校訓の下 未来を歩む



嶺朋会長  
土屋 とき江

早春の訪れを感じさせるフリージャヤーの花の香りが漂う頃となりました。皆様には、お元気で変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃より同窓会の事業に、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

コロナウイルス感染防止のために、二年間中止させていただいておりました総会を、今年度は開催することが出来ました。会場をグラウンド富士からロゼシアターに変更し、静寂な雰囲気の中総会が行われました。役員全員が、未経験でしたが、会員の皆様のご協力と温かい心に支えて頂きながら無事挙

行することが出来ました。

また、今年度は支部長・学年理事のみなさま方の役員会への出席をより高めて頂くために、理事に加えて副理事を、支部長に加えて副支部長のポストをつくり、あらためて皆様にご協力をお願い致しました。まだ、一部の方々の連絡は取れておりませんが、これからも引き続きお願いしてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

長い間、先輩諸兄姉の希望でありました「校名の看板」を製作することが出来ました。新しいスローガンと、吉原高等学校の校訓であります「正しく・強く・明るく」のように、まっすぐな視線で一步一步目標に向かって努力し、明るい未来を創っていくという姿勢で、校風が引き継がれていくことを期待しております。

これからも、吉原高等学校の一層の発展を願っております。

会員だより

同窓会員のみなさんの活躍

歌・山・想いを紡ぐ!!



大竹 敏枝  
(昭和30年卒)  
音楽教師

朝一番!!重い講堂の扉を開き、静まり返った部屋はピアノの音で目覚めるそんな毎日が私の吉高生活でした。  
又、岡田香積先生の合唱指導が礎となり、音楽への道標となりました。

その後、音楽教師三十二年、地域社会の人達と音楽を通して三十五年!!八十五才の私が居ます。振り返ると色々な思い出があります。二〇〇〇年、オーストラリア国際コーラスフェスティバルが「オペラハウス」で又、シドニーオリンピック聖火を迎える式典が同時に現地で行われ参加、初めての海外旅行でした。二〇〇四年、ウィーン楽友協会で「日本の心を歌う」会も懐かしく思い出されます。その後、年二回富士市合唱連盟コーラスフェスティバル、文化祭、地域の諸行事に参加、コロナ禍の今、合唱も歌声サロンもマ

クを欠かせない毎日が続く時代です。  
令和五年五月三日、ラ・カンタービレコーラスグループは、三十周年記念行事に向けて練習に励んで居ます。  
又、吉高二年生の時の富士登山が、私の五十代以降の生活に役立ちました。登山ブームに乗り、月二回の山歩きは楽しく、富士山、北岳を筆頭に、北は大雪山、南は宮ノ浦岳、特に剣岳(二九九九M)の岩山は、写真を観る度に胸の高まりを覚えます。八百座余を多くの友と制覇した今、ゆったりと身近な自然と向き合い、歌と共に人生を謳歌している昨今です。



ウィーン楽友協会での「日本の心を歌う」会

感謝する気持ちは幸せの近道



荻田 裕子  
(昭和57年卒)  
会社役員

還暦をもうすぐ迎えます。もうそんな歳になったと自分ながらに驚きます。人生も後半に差し掛かり思いが募りますが、私の歩んできた道は、人並みに楽しい事や嬉しい事ばかりではなく、辛い事や大変な事も多くありました。ただ、どの場面においてもいつも支えられ助けられてきたことは感謝の念に堪えません。

小さな頃から内気な私に幼稚園の先生はいつも優しくしてくれ、楽しい幼稚園生活でありました。優しい先生がいたからこそ将来の夢は幼稚園の先生と進路を決め、高校時代はその夢を実現するために頑張り幼稚園の先生になりました。その時の恩師も吉原高校の先輩であり、先生にお会いすると感謝の気持ちでいっぱいになります。結婚してからは、幼稚園の先生を辞めて、主人が経営するお店の仕事をすることになりました。今までと全然違う生活に戸惑う事も多く、また子育てをしながらの仕事は大変な毎日でしたが、従業



奉仕団体「国際ソロプチミスト富士」での活動

員さんや家族、その他にも多くの方々が支えてくれて自分と言うのもななんですが成長できた気がします。子育てについては本当に恵まれた事ですが、多くの人が関わる事で娘たちは優しい子に育ってくれました。感謝です。

今は、二人の孫を私達夫婦と祖母が関わり大切に育てています。孫を見ている時が一番幸せな時間です。

コロナ禍となり、社会が大きく変わりました。社会が変わっても何事にも感謝の気持ちを忘れずにいけば、きつと幸せにしてくれたり、大きくしてくれる何かに繋がると思っています。今までを感謝し、人生の後半は私のできる範囲で恩返しする事を心がけたいと思う今日この頃です。感謝する気持ちは私の幸せの近道であると思っています。

吉高生のころ



林 直輝 (平成 10 年卒) 人形文化研究家

富士市のほぼ中心部にあたる吉原地区に生を享け、吉原小学校、吉原第一中学校で学んだ私は、吉原高校が男女共学を復活するとの報に接して、すぐ第一志望校に決めた。吉高は母方の祖母や叔母の母校でもあったから、その長い歴史と良き伝統に好感を持っていたし、自宅から最も近い高校であることに、朝寝坊の私は大きな魅力を感じたのだった。

その共学復活の第一期生となった一年生のころは、まだ全校生徒のうちの男子の数も少なく、珍しい生き物を探るような上級生の眼差しを感じたものである。中学時代に剣道部の部長を務めていた私は、吉高に剣道部を創りたかったが、当時は顧問を引き受けてくれる先生もなく、美術部に所属することにした。しかし、先輩たちのほとんどは絵を描くそぶりも見せず、放課後に美術室へ集まっては仲間とおしゃべりするだけ。唯一の男子部員であった私は、その喧噪を忌々しく思いつつ、

ひとり黙々と絵筆を走らせていたのだが、いま振り返れば、そんな他愛のない語らいのひとつもまた、彼女らのかけがえのない青春であったと思えるのである。

二年生のころ、テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」に夙コレクターとして出演した時には同級生や先生方にもずいぶん驚かれたが、まさか二十余年を経て同番組に鑑定士の立場で出演することになるうとは、私自身も想像できなかった。いま、吉高在学中の生徒のなかにも、将来さまざまな分野で活躍する人が潜んでいるに違いない。先生方には、それぞれの生徒が長所を長所として伸ばせるよう、また本人も気づいていないような才能を開花させられるよう、温かなご指導をお願いしたいものである。



令和 3 年 紺綬褒章受章 (伝達役の栃木県知事と)

私の原点



山本 祐輔 (平成 25 年卒)

株式会社キャリアドライブ 静岡県富士自動車学校

私は現在、静岡県富士自動車学校にて社会の交通安全に努めて早六年が経とうとしています。吉原高校での自転車安全運転講習が記憶に残っている方もいると思います。交通事故を防ぐには、ルールを守ること等「あたり前」だと考える人も多いです。日々の生活の中で「当たり前」なことは沢山ありますが私はそれを継続するということが一番大切だと思います。

私のその考え方、高校生活で一番没頭した部活動にあります。私はサッカーが好きで三年間諦めることなく続けました。中学と高校では様々厳しさが違い入部した時は十数人いた同学年の部員も一桁となりました。しかし、仲間



吉原高校での安全運転講習

と励まし合い、目標に向けて努力を重ねていきました。自ら考え自ら行動することや挨拶の大切さといった「あたり前」なことを教えてくれたのが部活動であり私の原点です。卒業から十年以上経った今でも教えて頂いた顧問の先生に感謝の気持ちを今でも持ち続けています。そのような経験を糧に現在、教習所にて業務を行っていますが、「事故なんて起こさない」等、過信をしている人がいたらその考え方を改めて、「いつ起きるか分からないから気をつける」、そんな考え方になればおのずとルールを守れることを継続できると思います。これからも地域の事故0に向けて日々精進していきたく思います。

令和 4 年度 支部長名簿

支部名	氏名	卒年(昭和)
吉原	太田 素雅	51
今泉	橋爪 恭子	52
伝法	加藤 順子	42
広見	小林 昭子	40
青葉台	佐野 敏江	31
原田	須藤 賀苗	46
須津	増田美津代	39
元吉原	米山てる美	38
吉永第二	木又美恵子	47
富士見台	川島 けい	46
浮島	綾部 明子	41
鷹岡	勝又美枝子	39
岩松	影山美喜江	45
富士北	増田 久子	40
富士南	漆畑 典子	39
田子浦	安田 幸子	38
富士川	望月のり子	41
松野	原 郁美	50
富士宮	土屋 善江	41
沼津	齋藤 花枝	47
静岡	岡下 能弘	28



**高 楼 祭**  
**「同窓会のお部屋」から**  
 昭和56年卒 高橋 富美代



同窓生の作品をじっくり鑑賞していただきました

『同窓会のお部屋』には、本年度もコロナ禍の感染防止対策下ではありましたが、皆様からお預かりした数々の作品を華やかに展示させていただきました。  
 絵画や書道、生け花、アートフラワー、紙芝居など目を見張る素晴らしい作品に心踊らされ一つ一つに込められた作者の情熱を感じることができとても貴重な時間を過ごすことができました。当日は、入場者の規制はあったものの、多くの方々が訪れてくださり、アンケートにも答えていただき、今後



フォトスポットにもなった入口横の「フラワーウイング」

の励みに、より良い展示につなげられるご意見を多数ありがとうございます。準備をすすめている最中には、在校生から『手伝いますよ。大丈夫ですか』などと気遣う温かい言葉をかけられ、40数年ぶりに母校を訪れ、時の経過を実感するとともに還暦を迎える節目の年に諸先輩方々、現役在校生の笑顔に触れワクワクすることができました。同窓生が母校とつながる『同窓会のお部屋』が賑やかに開催されることを楽しみに、母校を訪れるきっかけとしたいと思います。

**短編動画を制作・公開中**

本年度の高楼祭では、同窓会のお部屋の準備風景や展示作品、高楼祭を盛り上げる在校生の表情など、当日の様子を収めた動画を制作し、YouTubeで公開しています。今回、撮影・編集を担当してくださった中村信哉さん(平成31年卒)にお話を伺いました。

文化祭というものは記憶によく残っているものです。今回、そのような高橋生の貴重な青春の一ページを撮影できたこと、非常に嬉しく思います。過

去・現在・未来というテーマを持って撮影に挑みました。卒業生が観て懐かしいと感じ、今の高校生そのものを映し、これから入学する中学生が魅力的に感じるようにこだわりました。  
 吉原高校生らしきが出ている作品になったと思っています。(中村信哉)



QRコードを読み取るとYouTubeで動画をご覧いただけます



動画内の1コマ

**部活動支援金を贈呈しました**

7月20日(水)、同窓会から母校へ部活動支援金を贈呈しました。学校生活や部活動も徐々に平常に戻りつつありますが、「さまざまな制約がある中においても、すべての部活に頑張ってもらいたい」という願いを込めて、全24部活の部長さんへ土屋会長から支援金を直接お渡しして、激励しました。



部活動支援金を贈呈しました。学校生活や部活動も徐々に平常に戻りつつありますが、「さまざまな制約がある中においても、すべての部活に頑張ってもらいたい」という願いを込めて、全24部活の部長さんへ土屋会長から支援金を直接お渡しして、激励しました。







# 同期だより

〈同期生の近況報告(昭和41年卒)〉



昭和41年卒  
明部 綾

## 嶺朋に感謝!!

私達四十一年卒は、戦後生まれのいわゆる団塊の世代で、受験、就職、結婚と常に競争を強いられました。そして、今では二〇二五年には、四人に一人が七十五才以上とか、何かと疎まれる年代で少々うんざりです。しかし、同窓生が多いことは、仲間も多いという事で、私達は、總會の役員を機に何度か食事を開くことになりました。四十一年卒なので(よいこの会)と名付けました。

学生時代は口をきい



また皆さんと楽しく歌える日が来ますように

たこともない方とも会を重ねるうちに気心が知れ次回が楽しみになりました。何よりも同じ時代を生きてきた戦後の物がない貧しい時代を経験してきたという共通の話題があり、話は尽きませんでした。この人とのつながりを大切に、残りの人生を明るく前向きに生きてゆきたいと思えます。この様な再会の場を提供して下さった同窓会嶺朋に感謝!!



# 支部だより

〈各支部の活動報告(鷹岡支部)〉



昭和39年卒  
湯川 由紀子

## 支部総会はバスに乗って

鷹岡支部の総会は、バスの中で行う事が恒例となっています。長野・山梨方面へ足を伸ばしたことも。近年は、箱根・伊豆長岡温泉等々。多くの諸先輩のご尽力で、このようなバス旅行を兼ねた総会の形が定着しています。その一こまをご紹介します。発車したバスの中はすでに、時空を超えた元女子学生達の笑い声が響いています。「静粛に。」支部総会の始まりです。

活動報告や次年度の役員会計報告等の議題が討議され、全ての議事が終了します。目的地では、お待ちかねの会食。続いて、校歌斉唱や有志の方々によるアトラク

ション。宴は大盛り上がりです。終盤は、全員で民謡やフォークダンスを輪になって踊ります。「来年もお会いしましょうね。」のかけ声の渦の中で、どなたも感激で胸いっぱいのご様子です。

我が母校は吉高というただその一点でここに会合し、心から笑い楽しみ、今日は本当に良い一日だったと実感する。

同窓会は、何と素敵な人生の一幕でしょう。私達の支部の悩みは最盛期の半数以下に、落ち込んでいる会員の大巾減少です。平成二十九年年度に、大々的な葉書作戦を実施し、九人の方をお迎えできました。

今後の支部の運営や活動について、みんなで知恵を出し合ってより良い方策を見つけていきたいと思えます。これからも、母校と嶺朋の発展をお祈り致します。



# 仲間の文芸

俳句・短歌・五行歌

うすものを縫ひしも昔五指見つむ

昭和21年卒 渡辺 清子

雨戸繰る急くな転ぶな蝉時雨

昭和22年卒 藤田千代江

ざる菊に瑞光の差す峡の朝

昭和32年卒 近藤 幸子

玫瑰や沖行く船の水脈高し

昭和37年卒 三木 政代

娘の好物栗御強にてバースデー

昭和37年卒 金子 里美

墨すりて半紙に向ふ時が好き香ただよひ筆なめらかに

昭和47年卒 伊藤久美子

リズムよく伝へる手話のその任草言語となりて弾む会話は

昭和38年卒 太田 若代

信濃より帰り来たりしまなかに富士ヶ嶺そびゆ薄雲ひきて

昭和26年卒 仁藤ひろ子

あと十六年のぼりてゆかむ一刹の健康保険の世話になりつつ

昭和31年卒 古館 秀雄

野菜づくりり励みつつ生きむ恙無く八十五歳迎へし今日を

昭和31年卒 松下 孝子

まっ青な朝の空に

ひとひら

切り損なつた大根のような

透き通つた

半月

昭和37年卒 太田富美子

次号では、世代を問わず気軽に投稿していただくため、川柳、写真、絵画、書道、立体作品など、広いジャンルの作品を募集します。応募先は8面をご覧ください。

学校だより



▲吉原高校 ホームページ



▲吉原高校 公式ツイッター

ご挨拶



校長 福島 由子

同窓会の皆さまには、日頃より本校生徒の学びに寄り添い、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて今年度入学した一年生から新しい学習指導要領が始まり、本校でもこれに沿った教育課程を準備し日々の教育活動を展開しています。

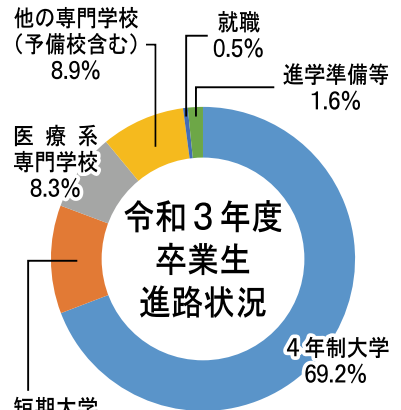
中でも「総合的な探究の時間（以下総探）」と「特別活動」は、思考力・判断力・表現力の育成と学びに向かう力、人間性の涵養をねらいとしてこれまで行っていた指導計画の見直しを行いました。特に総探は、地域と連携し、「住み続けられるまちづくり」を考えるグローバル人材の育成」を目標に新たな年間計画でスタートしています。富士市の総合計画をテキストに富士市の課題を学び、解決に向け授業内で提案していきます。この授業で培った力が、ゆくゆくは富士市が抱える課題解決に参画し、自分事として協力する人に育つことを期待しての取組です。

しかし、そのような学びを進めるにあたり実は直面する課題があります。生徒が地域の企業や活動しておられる方を訪問する際に、どのようにそ

の対象を見つけていくのかというものです。様々な分野でご活躍の同窓生の皆さまは頼りですので、ご協力いただけると幸いです。吉原高校に入学・卒業していく生徒達が、将来皆さまのようになら社会に貢献している姿を想像しながら本稿を執筆しています。同窓会の皆さまには引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度卒業生 大学合格者数と専門学校進学先・就職先

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
<b>国公立大学 (延34名)</b>					
山形大学	2	多摩大学	2	名古屋商科大学	2
福島大学	1	中央大学	1	日本福祉大学	1
宇都宮大学	1	帝京大学	2	人間環境大学	1
群馬大学	3	帝京平成大学	2	名城大学	4
横浜国立大学	1	東海大学	9	鈴鹿医療科学大学	1
福井大学	1	東京電機大学	2	京都外国語大学	1
信州大学	1	東京農業大学	1	京都産業大学	1
静岡大学	5	東洋大学	4	京都精華大学	1
九州工業大学	1	日本体育大学	1	京都橋大学	1
神奈川県立保健福祉大学	1	日本大学	7	花園大学	2
都留文科大学	5	日本社会事業大学	1	龍谷大学	1
公立諏訪東京理科大学	2	法政大学	1	武庫川女子大学	1
長野大学	1	武蔵野大学	1	奈良大学	1
静岡県立大学	7	明治大学	1	関西外国語大学	2
静岡県立農林環境専門職大学	1	明治学院大学	2	<b>公立短期大学 (延5名)</b>	
滋賀県立大学	1	立教大学	4	静岡県立大学短大部	4
<b>私立大学 (延221名)</b>					
国際医療福祉大学	2	神奈川大学	17	大月市立大月短期大学	1
駿河台大学	2	神奈川工科大学	6	<b>私立短期大学 (延24名)</b>	
文教大学	2	鎌倉女子大学	1	上智大学短期大学部	1
国際武道大学	1	関東学院大学	3	小田原短期大学	1
城西国際大学	1	湘南工科大学	2	日本大学短期大学部	7
明海大学	1	桐蔭横浜大学	1	常葉大学短期大学部	10
亜細亜大学	2	横浜商科大学	1	静岡英和学院大学短期大学部	2
桜美林大学	1	静岡英和学院大学	3	大阪芸術大学短期大学部	1
工学院大学	1	静岡産業大学	12	他	
国士館大学	1	静岡福祉大学	4	<b>看護・医療系専門学校</b>	
実践女子大学	1	静岡理工科大学	3	富士市立看護専門学校	
順天堂大学	6	常葉大学	59	J.A.静岡厚生連するが看護専門学校	
上智大学	1	愛知学院大学	2	静岡医療センター附属静岡看護学校	
専修大学	3	愛知工業大学	1	静岡県立看護専門学校	
大正大学	1	中京大学	1	他	
大東文化大学	1	中部大学	2	<b>就職</b>	
		東海学園大学	2	自衛隊 (航空)	
		名古屋外国語大学	8		



〔詳細は学校ホームページに掲載しています〕

「一人一台端末」始動

今年度より、1年生全員に1台ずつ、パソコン（クロームブック）を貸与しました。日頃からスマートフォンやタブレット端末に触れている今の生徒たちにとって、授業でのパソコンの活用は最早スタンダードであり、「文房具の一つ」と言っても過言ではありません。

学校側としても、日々の授業における「一人一台端末」は、時代の流れに即した新しい教育環境を整えるものであり、創造力の醸成や情報リテラシー育成のための有効な手段として、吉原高校の生徒たちの最適な学びをサポートしています。



パソコンを活用した授業の様子



# 「夢講座」を開催

本年度の夢講座は、7月8日(金)に本校野球部OBであり静岡朝日テレビアナウンサーの片山真人さん(平成18年卒)を講師に迎えて実施しました。「アナウンサーのお仕事は、誰かの人生を変えるかもしれない仕事である」、「口に出して誰かに伝えることで、自分に責任感が生ずる」、「必死に食ら

いついて、応援される人間になること」といった、片山さんの言葉が印象的でした。講座の後半は、生徒たちからの質問に、先輩として親しみを込めてたっぷり回答いただきました。夢講座は、物事を新たな視点で見直し、目標に向かってチャレンジしていくことの大切さを身につけることを目的に、学校後援会のご支援により毎年度開催しています。



講師の片山さん

## グローバルユース国連大使に

### 加藤香菜さん(国際科2年)が就任

日本青年会議所主催の「JAPANAグローバルユース国連大使育成事業」に参加した加藤香菜さん(国際科2年)がグローバルユース国連大



第3回広島での研修(一番右が加藤さん)

使に就任し、活動しています。加藤さんにこれまでの活動内容や、今後の目標について話を伺いました。

私は「JAPANAグローバルユース国連大使」として活動してきました。この事業は日本全国から集まった22名の高校生が国内・外での研修を通じて、世界の文化や価値観に触れ、SDGsの問題への解決策を考えていくプログラムです。

私たちは3回の国内研修を経て、実際に自分の目で世界の問題を見るために、インドネシアに行ってきました。そこで現地の高校生と交流し、

互いの国が抱える環境問題の現状等を話し合いました。

これらの研修後、私は地元でSDGsの啓発活動を行いました。インドネシアで貧しい人々の暮らしを初めて目のあたりにした私は、世界の平和や不平等をなくすための解決策を考え、第一歩を踏み出せるのは豊かな環境で生きている私

たちだからこそできることだと思いました。

私は一人でも多くの人にSDGsの現状を知ってもらい、行動するきっかけ作りをしたいと思います。



## 美術部 小林さん 全国大会出展決定!

令和5年度全国高等学校総合文化祭(高文祭)に、美術部2年の小林咲良さんの絵画作品『九十九年間』が出品されることになりました。高文祭は今年7月29日~8月4日に鹿児島県で開催されます。

## 剣道部 東海大会に出場決定!

1月14日・15日の県高校新人体育大会剣道競技において、本校剣道部が男子団体戦で3位に入賞し、2月に岐阜県で開催する東海大会に出場を決めました。

## ネイティブ英語教員が本校に着任しました



今年度より、コクソン・マリオ先生が、ネイティブ英語教員として着任しました。マリオ先生は来日して6年になります。日本語も堪能ですが、授業は英語で行われます。マリオ先生の授業では、日常の英会話はもちろん、グローバル社会で役立つコミュニケーション能力や課題解決力といった高度な英語力の習得が期待されます。

**吉原高校**  
公式 Twitter  
開設しました!

ホームページでは載せられないリアルタイムの情報や生徒たちの様子をアップしています。  
みなさんのフォローをお願いします!  
@yoshiwarakouku

令和4年度

# 嶺朋総会 開催報告

当番幹事

昭和45年卒 高松 節子  
昭和46年卒 濱村 加保子

令和4年度「嶺朋総会」が三年ぶりに感染防止対策を実施して、五月二十二日「ロゼシアター小ホール」で開催されました。

会長、来賓の挨拶。決算報告。議事承認。続いて富士市消防本部中央消防署の救助担当消防士として活動されている、卒業生 中村信哉さんの講演。消防士として火災だけではなく、救急や救助など様々な災害活動に出動、市民の安全を守る為、日々訓練に励んでいる様子。ご苦労様です。これからもよろしく願います。



初めてロゼシアターで開催しました



司会進行ありがとうございました



講演会講師の中村さん

そのほか、スライド上映によるコロナ禍での在校生の学校生活と活動の紹介や、喜寿のお祝いの方々へ花束を贈呈させていただきました。今年度、当番学年としては、受付係と総会の司会のみのお手伝いとなりました。来年度は、多数の方々参加が可能になり同窓生の皆様と懇親が出来る事を願っています。(高松)

コロナ禍でしたが、三年振りに開催となった嶺朋総会が無事に終了し、ほっとしています。今年度は、四十五年・

四十六年卒の二学年合同当番となりました。総会の司会進行は四十五年卒の先輩方がすすめて下さり、四十六年卒は受付案内を担当しました。総会は、先輩方の大きな支えと本部役員さんたちのお力で成功裏に終わりました。微力ながらお手伝いさせていただき、責任を果たせたこと関係役員さんたちに深く感謝致します。

総会に出席された皆様は、この日を築しみに来られたことがよくわかりました。「昔女学生」のおもかげあふれるかわいらしい笑顔に、親しいお友だちや懐かしいお友だちに会えた喜びがあふれており、誇りや、深い母校愛を感じました。私自身、五十二年ぶりに偶然お友だちに出逢え、懐かしい声、マスク越しのおもかげ残る目元の笑顔に幸せな時間を過ごすことができました。(濱村)

## 令和5年度 嶺朋総会

日時 令和5年6月17日(土)

受付 午後1時～

総会 午後1時半～

会場 富士市文化会館

ロゼシアター小ホール

当番幹事は昭和47年卒の皆さんです。

お問い合わせ 嶺朋会長 土屋とき江

電話 0545-61-9481 (FAX兼)

※新型コロナウイルスの状況次第で中止とさせていただきます。(詳細は同窓会ホームページでお知らせします)

## 編集後記

創刊三十号という節目を迎え、新たな試みとして表紙に同窓会ホームページのQRコードを載せました。ホームページでは同窓会の活動や過去十年分の同窓会報を閲覧できます。多くの方にご一読いただけましたら幸いです。今号も原稿をお寄せくださった皆様にご心よりお礼申し上げます。

誌面へのご意見・ご感想や、次号の表紙や会員だよりで取り上げてほしい方や情報がありましたらぜひお寄せください。仲間の文芸作品もこちらまでお願いします。

〔郵送先〕〒417-8545 静岡県富士市今泉2160番地 静岡県立

吉原高等学校同窓会事務局宛

※同窓会ホームページのお問い合わせフォームから受け付けています。

【編集委員】綾部明子、宮本晴美、

太田眞弓、太田素雅、中村祐里子、

加藤恵子、渡井祐香

〔印刷所〕(有)富士ニユーソ社